

授業科目 老年看護学実習

【担当教員名】		対象学年	3・4	対象学科	看護
袖山 悦子、望月 紀子		開講時期	前期（4年）・後期（3年）	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	180
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
【概要・一般目標：GI0】					
老年期にある対象の発達課題及び特性を理解し、健康障害や状況に応じた看護の役割・機能を習得する。					
【学習目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 老年期にある対象の身体・精神・社会的特徴を理解する。 2. 老年期にある対象の健康障害に応じた看護計画の立案・実施・評価ができる。 3. 健康障害のある対象及びその家族に応じた生活の質（QOL）の維持向上に向けた援助方法を学ぶ。 4. 保健医療福祉の中での看護職の役割・機能について学ぶ。 5. ソーシャルサポートシステムの概要を理解し、老年期にある対象と家族への援助方法を学ぶ。 6. 老年期にある対象の尊厳を学び、豊かな老年観と倫理観を育む。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前学習・実習前講義で学ぶ <ol style="list-style-type: none"> 1) 老年期の身体的・精神的・社会的特徴 2) 施設の特徴 3) 受け持ち患者の病態 2. 病院実習3週間のなかで1名の患者を受け持ち、看護過程の展開をする <ol style="list-style-type: none"> 1) アセスメント 2) 看護問題の抽出 3) 看護計画の立案 4) 看護計画に沿って実施 5) 評価 3. 特別養護老人ホーム、グループホームで1週間見学実習を行いレポート提出をする <ol style="list-style-type: none"> 1) 施設入所している高齢者の日常生活 2) 保健医療福祉における看護の役割及び機能 3) ソーシャルサポート 実習は老年看護学領域の全教員が担当する				
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	老年看護技術 ―アセスメントの ポイントとその根拠―	奥野 茂代、大西 和子 編集	ヌーベルヒロカワ	2010・2,100円＋税	
参考書	根拠が分かる老年看護技術	泉キヨ子、天津栄子 編集	メヂカルフレンド社	2009・4,000円＋税	
	新・脳神経外科エキスパートナ ーシング	垣田清人、竹島春代、米戸 浩子 編集	南江堂	2005・3,500円＋税	
	経腸栄養管理のすべて	城谷典保 編集	南江堂	2008・4,000円＋税	
	イラストで学ぶ人体のしくみとは たらき	田中越郎	医学書院	2006・3,150円	
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習時間の4/5の出席時間 2. 総合評価が60点以上であること。 					